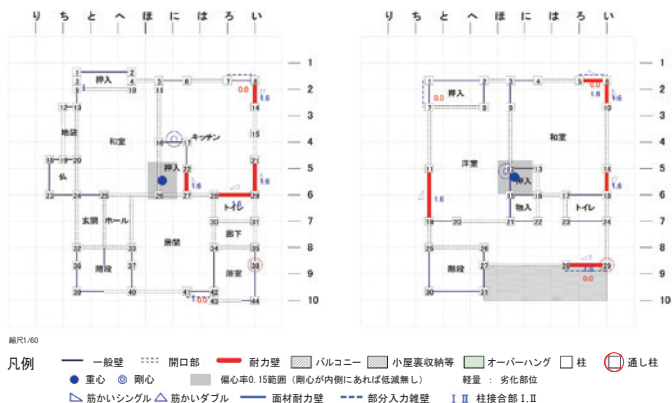


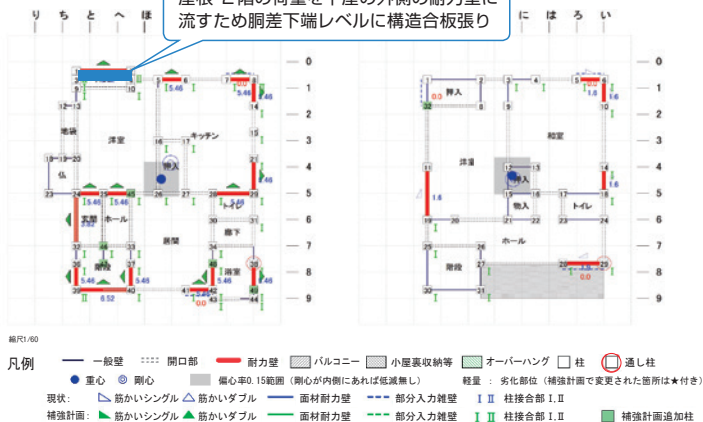
平面図・耐震補強プラン

リフォーム前



リフォーム後

屋根・2階の荷重を下屋の外側の耐力壁に流すため胴差下端レベルに構造合板張り



1階のX方向が極端に開口部が多いため評点が最も低くなっているのと、下屋が多いため上階の地震力を地盤に伝えるため2階の床構面を固める必要性があることがプランおよび解体時に分かった。2階は開口部と壁の割合が比較的にバランスが良かったため、筋交いと接合部の補強とした。メインの補強は1階の必要な開口部とのバランスをとりつつ補強

■上部評点

現状					
階	方向	剛性率 低減係数	偏心率 低減係数	保有耐力 (kN)	必要耐力 (kN)
2	X	1.00	1.000	14.82	20.75
	Y	1.00	1.000	13.62	×
1	X	1.00	0.596	10.32	38.85
	Y	1.00	1.000	29.85	△
				合計	2.38

※ 必要耐力計算方法: 精算法

補強計画2					
階	方向	剛性率 低減係数	偏心率 低減係数	保有耐力 (kN)	必要耐力 (kN)
2	X	1.00	1.000	22.19	20.75
	Y	1.00	1.000	24.22	×
1	X	1.00	1.000	64.15	38.85
	Y	1.00	1.000	63.53	△
				合計	5.50

※ 必要耐力計算方法: 精算法